

滋賀大学と滋賀県立大学との連携した地域づくりに向けて

当協会は、令和5年11月8日に滋賀大学と令和6年2月27日に滋賀県立大学との間で包括的連携協力に関する協定を締結しました。本協定は、両者が相互に協力し、互いの持つ知的・人的・物的資源を結集して、双方の発展と活力ある地域づくりを進めるとともに、地域経済の発展、学術研究機能の向上と人材の育成に寄与することを目的とするものです。

協力内容

1 地域の振興・地域経済の活性化に関すること

大学が持つ研究機関としての知見やノウハウを当協会と共有して活用することで、社会、地域の課題と解決に資する方策を検討します。

2 中小企業・小規模事業者の振興に関すること

SDGsや環境経営に取り組む中小企業等を協働で支援し、中小企業等の課題解決に資する方策を検討します。

3 創業者マインドの醸成に向けた取り組みに関すること

当協会が開催する「創業セミナー」に学生等が参加し、また大学が実施するアントレプレナー教育等を当協会が支援することで、創業機運の醸成に努めます。

4 次世代の人材育成に関すること

大学講座へ当協会職員を講師として派遣し、地域の発展に寄与する人材育成を目的に国の中小企業支援策としての信用補充制度・信用保証制度等について学びの場を提供します。

5 インターンシップを始めとするキャリア形成支援活動に関すること

当協会が実施する1Day仕事体験に学生が参加し、将来の働く場として検討してもらうための職場体験の場を提供します。

当協会と連携協定を締結する大学の学生、卒業生、大学発ベンチャー認証者への信用保証料割引制度を新たに創設しました!!



詳しくはこちら!

保証の種類	保証対象額	保証方法	保証利率	保証料率
創業融資保証	3,500万円以内	連帯保証	1.00%	0.50%
スタートアップ保証	2,500万円以内	連帯保証	1.20%	0.70%
創業資金(女性専用)	1,000万円以内	1.00%	0.50%	0.00%
創業資金(一般)	2,000万円以内	1.00%	0.70%	0.00%

株式会社イヴケア

代表取締役 五十樓 計 氏
事業内容/メンタルヘルスコンサルティング



本社/滋賀県大津市馬場2-10-16
ZEZE駅前キュズビル3F-BC
創業/平成31年1月(2019年)
従業員/2名



「大学連携信用保証料割引制度」第1号利用者に聞く 髪の毛を使ったストレス診断で新たに駅前ケアルームを開設

経緯 長期的・客観的にストレスを可視化

滋賀大学で初めてのベンチャー企業「株式会社イヴケア」は、目に見えないストレスを髪の毛を用いて数値化し測定するというサービスを柱として2019年に創業しました。これまでも血液や唾液、アンケートなどによってストレス診断は行われてきましたが、いずれの結果も短期的・主観的なものに限定されてしまいます。そこで着目したのが、毛髪に蓄積するコルチゾールというホルモンがストレスの強度によって変化する点です。

髪の毛は根本から毛先に向かうほど古く、位置ごとにホルモン量を測定することで長期にわたるストレスの変化を客観性のある数値として得ることができます。あわせてDHEAというホルモンを測れば、ストレスにどれだけ耐えたかという反応を分析でき、「二つのバランスによって、受けたストレスと、それにどれだけ立ち向かっているかを知ることできます」と同社の代表取締役社長CEOの五十樓計さんは説明します。

現在 診断からメンタルヘルスマネジメントへ

会社設立は五十樓さんが大学院1回生のときのことで、それまでは教育学部でいじめについて研究していました。いじめの実態を把握しケアを考えるうえで難しいのは、自分が悪いからいじめられる、というように被害者の認知がずれる点にあります。そこで五十樓さんは被害者が受けるストレスを客観的なデータとしてとらえる必要性を感じ、研究室の大平雅子教授が開発した毛髪診断技術をもとに研究を進めていました。そんななか、県内の理系研究者・技術者を育成する創業支援プログラム「滋賀テックプランター」を知り、課題解決型のメンタルヘルスビジネスに取り組むことにしたといいます。

創業当初は企業を対象に商品・サービス開発のエビデンスとなるデータの提供や社員診断などを展開していましたが、診断結果をもとにしたカウンセリングや、ストレスとうまくつきあうためのメンタルヘルスマネジメントなどを担うようになり、現在では産業医や臨床心理士、社会福祉労務士とチームを組んで診断技術の提供に留まらない事業を展開しています。

これまでは滋賀大学内にオフィスを構えていましたが、一般にも広くサービスを活用してもらえるよう、この春、JR膳所駅前の交通至便な場所に移転し、従来事業に加えて「心のケアルーム pointぽわん(ぽわんぽわん)」を開設しました。「私の研究テーマでもあるいじめ問題も含め、地域に根ざしながら幅広い年齢のみなさんが気軽に訪れることができるサロンになれば」と展望を語ってくれました。

未来 信用保証が学生起業家のより自由な発想を支援

本社移転とケアルーム開設にあたり、活用したのが大学連携信用保証料割引制度です。五十樓さんはこの制度について「経営者保証を必要とせずに融資を受けられる点、さらに保証料をサポートしてもらえるのが有難かった」と振り返ります。学生起業家は資産がないケースがほとんどで、資金集めは大きなハードルです。五十樓さんは自身でも創業時からストレス診断を継続的に行ってきましたが「第1回目の融資のタイミングが不調のピークだった」と苦笑します。

「学生が創業する際は共同出資を募ることも多く、若年であるために立場が弱くなったり、各々の思惑に振り回されたりして意思決定が迷走するケースもよく耳にします。自己資金で展開できればそれに越したことはありません。融資が受けやすくなり、保証の受け皿があれば、思い切った判断やスピーディーな展開も可能になるはず」と実感を入れて語ってくれました。

2025年の大阪・関西万博では大阪ヘルスケアパビリオンの出典候補者にも選出され、さらに大きな一歩を踏み出そうとする五十樓さん。今後は企業向け、個人向けの事業を両輪に、子どもから大人まで、また、ペットやペットを通じた飼い主のメンタルヘルスも視野に入れ、「Well-being」な社会の実現に貢献することをめざしていきます。